

保証書

品名	ブロックアイススライサー
型式	HB-130A
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売会社住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
・落下・火災・地震など天災地変による故障。
・消耗部品の交換・保証書のないもの。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

フード機器事業部/三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京/TEL 03 (3633) 9501 大阪/TEL 06 (6788) 2251
名古屋/TEL 0594 (32) 1130 福岡/TEL 092 (474) 1312



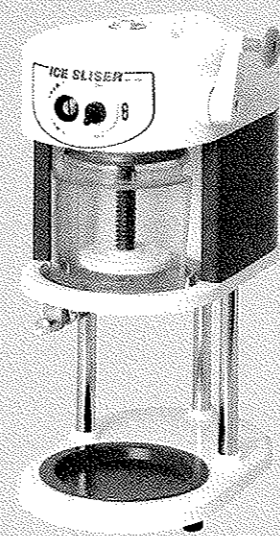
Hatsuyuki

ブロックアイススライサー

取扱説明書

ブロックアイススライサー

型式/ HB-130A



- このたびは、初雪ブロックアイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

もくじ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き・付属品	4
■注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●ブロックアイスの作り方について	8
●運転の手順	9
●円盤上の氷の取り出し方法について	11
●強弱調節ネジについて	11
●プロテクターについて	12
●安全スイッチについて	12
■刃物の交換のしかた	13
●刃物の取り外し・取り付け方	13
■お手入れ	14
●毎日のお手入れ	14
●汚れが目立つときのお手入れ	15
●1ヶ月に1~2回のお手入れ	15
■点検	16
●1年に1~2回の点検	16
●保管方法	16
■譲渡・廃棄	17
■故障の見分け方と処置方法	17
■仕様	18
保証書・アフターサービスについて	巻末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用すると、感電、火災、ケガの原因となります。

損傷確認

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）

アース工事

アース端子付コンセント使用のとき
アース線を確実につなぐ

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

禁止

警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。

水掛け禁止

漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。

漏電連絡

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

異常時は、電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF（切）にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

素手禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

運転中にスライドカバーを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

改造禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。

屋外禁止

切削室内を掃除する時は、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。

刃物を下げる

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

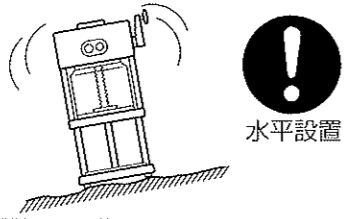
禁止

各部のなまえとその働き

⚠️ 注意

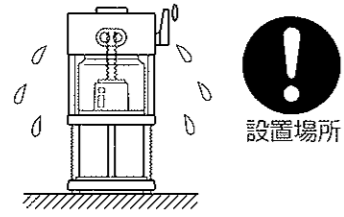
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



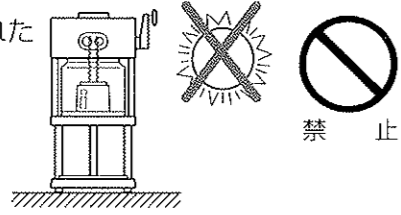
水滴が落ちてもしよいところに据え付けること

結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。



直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



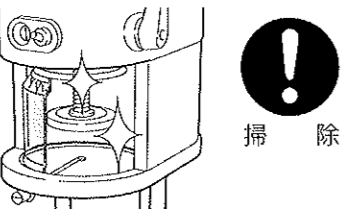
掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



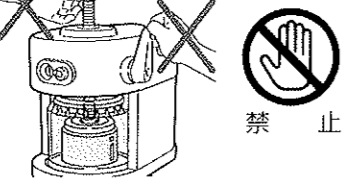
切削室は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になります。



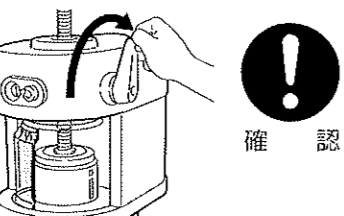
運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。



氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。



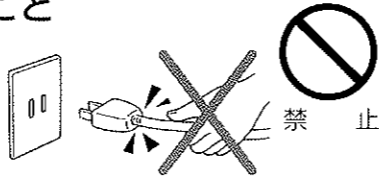
可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



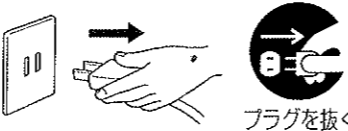
電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



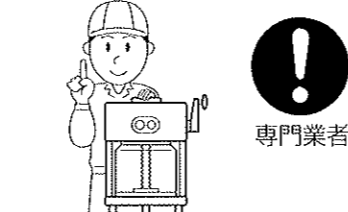
1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

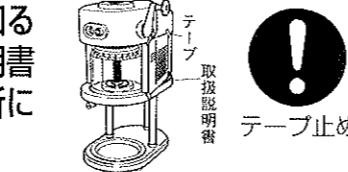


廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。

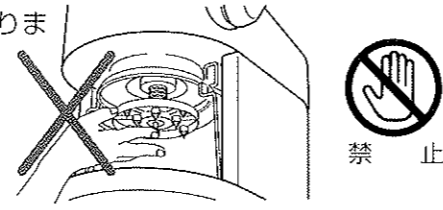


このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



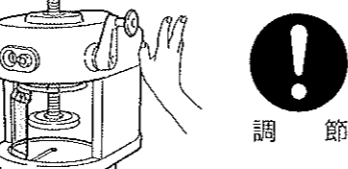
氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。



強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放しても氷押えが下がらないよう調節すること

ケガの原因になります。



●本製品は専用の製氷カップ(付属品)で凍らせたブロックアイスからスライス氷(かき氷)を作るための機械です。

専用の製氷カップ(付属品)で凍らせたブロックアイス以外のものは使用しないでください。

※ブロックアイスとは…専用の製氷カップで凍らせた直径約12cm、高さ約10cmの氷です。

■本体

強弱調節ネジ
氷を押える力の調節に使用します。

主軸
運転中は回転し、氷を押える力を伝達します。下には氷押えが付きます。

切削室
氷をスライスする部屋です。

刃物
氷をスライスします。

刃物調節ダイヤル
これを回してスライスの粗さを調節します。

円盤
氷をスライスするとき載せる盤。裏側に刃物が付いています。

電源スイッチ
運転・停止の操作に使用します。

上下ハンドル
主軸(氷押え)を上下させるのに使用します。

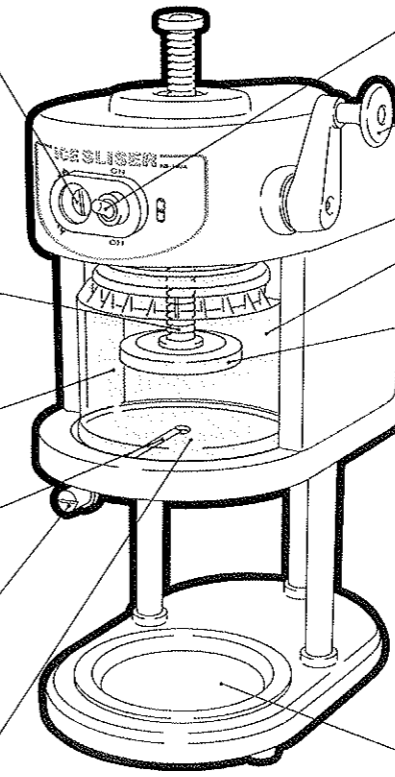
スライドカバー
氷削るとき閉じます。

氷押え
下側に釘があり、氷を固定します。

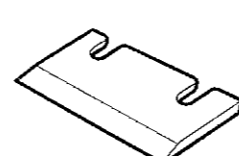
アース線
万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

電源コード
先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

バット
円盤上の氷が溶けた水を受けます。



■付属品



予備刃物(1個)

氷旗(1個)



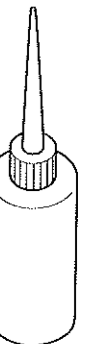
バット(1個)

本体の下に敷き、円盤上の氷が溶けた水などを受けます。



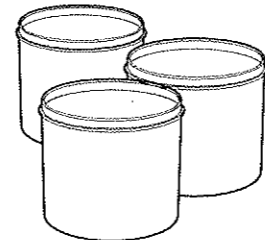
ギヤオイル(1個)

主軸他の給油に使用します。



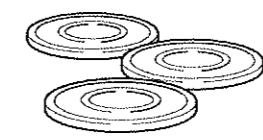
製氷カップ(3個)

ブロックアイス製氷するために使用します。



フタ(3個)

製氷カップに取り付けます。



取扱説明書(本書)

設置と運転前の確認

■注意ラベルの貼付位置

お願い

- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：開閉シール 906

開ける ← → 閉じる

お願い 氷削る時は、右方向に回し、ストップバーにあたるまで、確実に閉じて下さい。

※閉じ方が不十分では、スイッチが入りません。
※スライドカバーの開閉を、電源スイッチのかわりにしないで下さい。

(スライドカバーに貼ってあります)

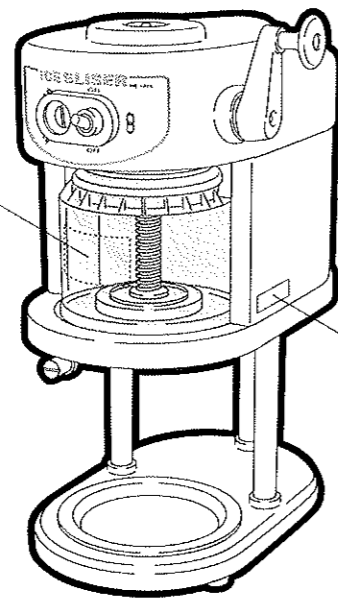
品名：PLラベル/カンデン 702

警告

感電注意

感電のおそれあり
アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

(本体背面に貼ってあります)



品名：PLラベル 701

警告

よく読む

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

(本体右側面に貼ってあります)

■設置

警告	この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと 感電、ケガの原因になります。		禁止
アース工事を必ず行なうこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)		アース工事	
電源は専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。		専用電源	
	湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。		湿気禁止
	熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと 熱でプラスチックが溶けたりして危険です。		熱器具禁止

注意	水滴が落ちてもしよいところに据え付けること 結露の水の洩れ、かき氷の飛び散りなどで周囲の機器を濡らすことがあります。		設置場所
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること 据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。		水平設置	
	直射日光の当たるところで使用しないこと プラスチックが割れたりして危険です。		禁止

■運転前の確認

- 電源は、交流100Vに接続してください。
使用電圧は、90~110Vでお使いください。但し、発電機は使用しないでください。発電機による故障は保証いたしません。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。また製氷カップとフタも掃除してください。(P.14~15 毎日のお手入れ参照)

■その他

- 地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されない場合がありますので、当該機関(保健所等)までお問い合わせください。

各部のなまえとその働き

設置と運転前の確認

ご使用方法

警告

運転中にスライドカバーを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



素手禁止

注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

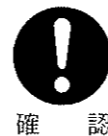
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

氷のセットは確実にすること

不十分ですと、氷が飛び出す恐れがあり危険です。



確認

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にホコリが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。

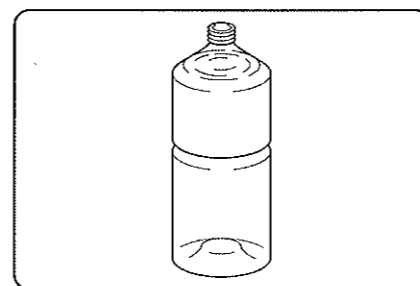


禁止

お願い

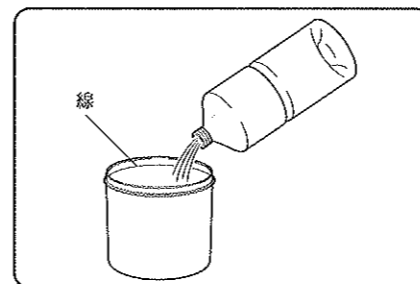
- 霜が付くほど冷えた氷は硬すぎて切削には不適當です。透明になるまで待って使用してください。硬すぎる氷を使用して削られた氷は粉のような「かき氷」になり、綿のような本来の「かき氷」にはなりません。また、刃物の刃先が損傷したりして、削れなくなることもあります。必ず透明になるまで「ゆるめ」てからお使いください。
- 製品の上に物を載せないでください。

■ブロックアイスの作り方について



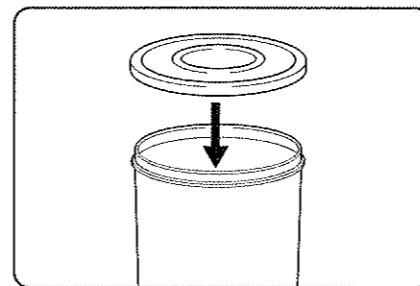
1 飲料水を用意する。

- 飲料用の水を用意します。



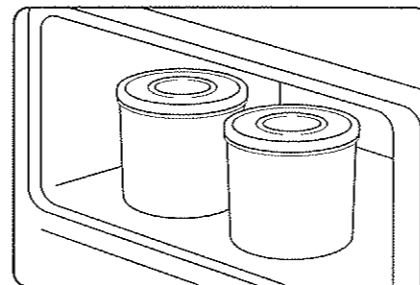
2 製氷カップに飲料水を入れる。

- 製氷カップの内側にある線まで飲料水を入れてください。(容量約1000cc)この線を越えると、できあがりのブロックアイスが大きくなりすぎて本体にセットできなくなる場合があります。



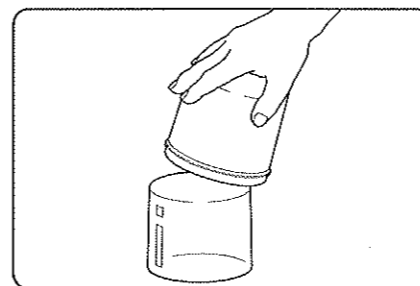
3 フタをする。

- 製氷カップにフタを取り付けます。



4 製氷する。(冷凍)

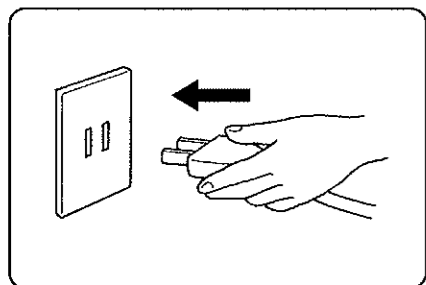
- 冷凍庫の平らな場所に入れてください。斜めの場所に入るとできあがりのブロックアイスが異形になり本体にセットできなくなる場合があります。(冷凍時間の目安…-20℃の冷凍温度にて約13時間)



5 ブロックアイスを取り出す。

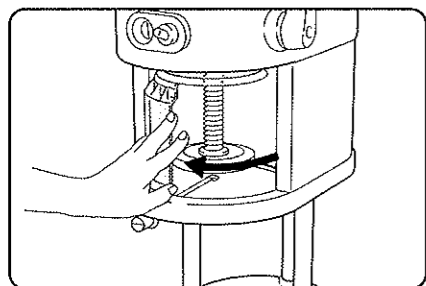
- 冷凍庫より製氷カップとフタを取り出します。
- フタを開け、製氷カップからブロックアイスを取り出します。取り出しにくい時は、フタを付けた状態で水道水を全体にかけてください。
- ブロックアイスをゆるめてください。[P.7お願い(1) 参照]

■運転の手順



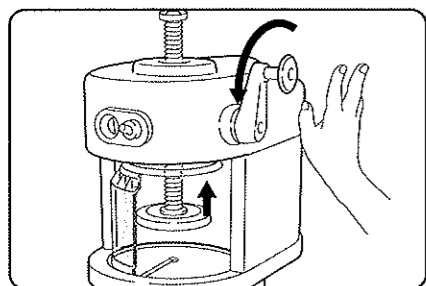
1 電源プラグを差し込む。

- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



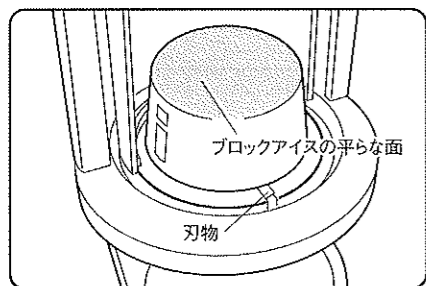
2 ブロックアイスセットする。

- スライドカバーを左に回して開けます。

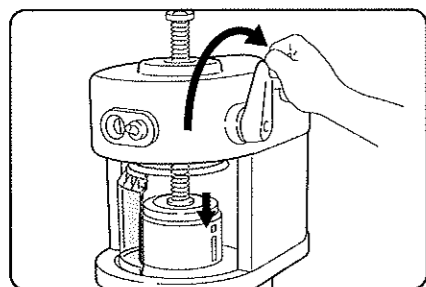


- 上下ハンドルを半時計方向に回して氷押えを上げます。
- 上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。

※落ちるとケガをすることがあります。
落ちるときは強弱ネジを調節して落ちないようにしてください。(P.11強弱調節ネジについて 参照)

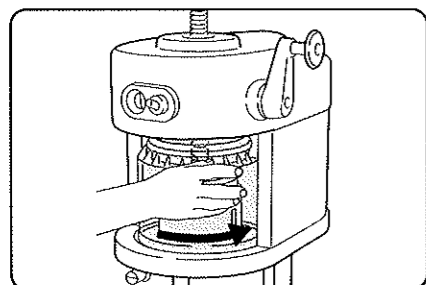


- ブロックアイスの平らな面が上側(氷押え側)になるようにして円盤の中心にブロックアイスをのせます。この時、刃物よりはみ出ないようにしてください。(氷が削れなかったり、斜めに削れて氷が飛び出したりすることがあります。)
- 氷から手を離します。

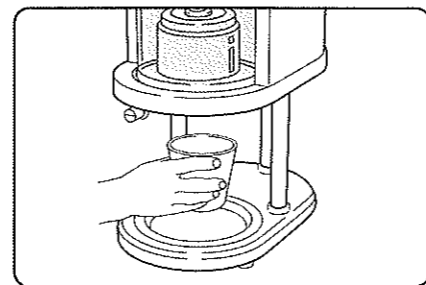


- 上下ハンドルを時計方向にまわし、ブロックアイスに氷押えのクギをくい込ませて確実に固定します。

※不十分ですと氷が飛び出ることがあります。

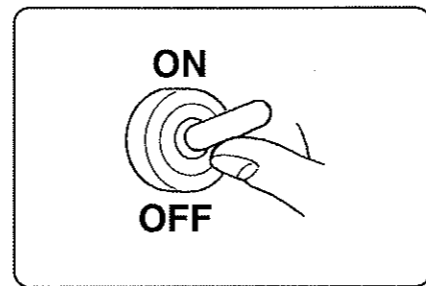


- スライドカバーを右へ一杯にまわして閉じます。ストッパーに当たるまで回してください。不十分ですと、電源スイッチをON(入)にしても安全スイッチが働き、製品が動きません。



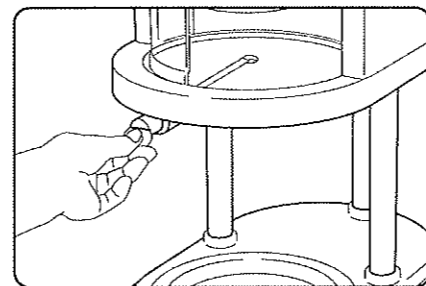
3 カップを受ける。

- 円盤の下にカップなどの容器で受けてください。



4 電源スイッチをON(入)にする。

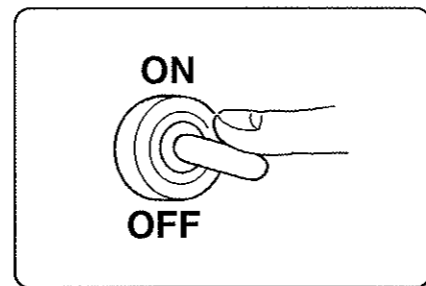
- 運転を開始します。



5 氷削粗さの調節をする。

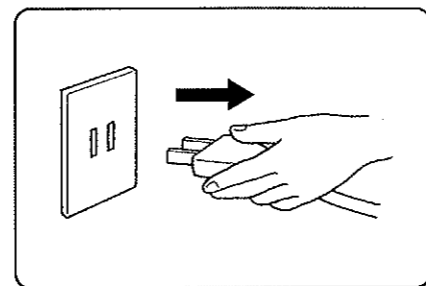
- 刃物調節ダイヤルの溝にコインなどを入れてまわし、お好みの粗さにします。(左右どちらにもまわります。)
- 刃物調節ダイヤルの数字は一番上にセットした数字が粗さの設定になります。
- 粗さの目安は1(細かい)~5(粗い)となります。0は円盤上面から刃先が出ません。(氷は削れません。掃除の時などに使います。)

数字	0	1	2	3	4	5
粗さ	刃の出0	細かい ←				粗い →



6 電源スイッチを切る。(運転停止)

- 電源スイッチをOFF(切)にしてください。



7 使用後は電源プラグを抜く。



- 1日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。

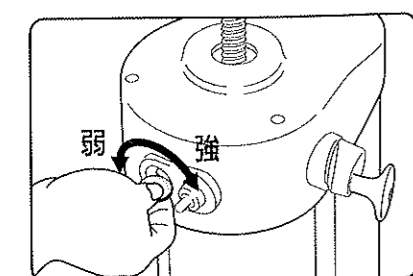
■円盤上の氷の取り出し方法について

 警告	 注意
氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと ケガの原因になります。	氷押えのクギに手を触れないこと ケガの原因になります。
 禁止	 禁止

		
1 電源スイッチをOFF(切)にします。	2 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。	3 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。
		
4 スライドカバーを左に回して開けます。	5 円盤から氷を取り出します。	6 氷押えは、上下ハンドルを時計方向に回して下げておいてください。

■強弱調節ネジについて

 注意
強弱調節ネジの調節は上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないよう調節すること ケガの原因になります。
 調節

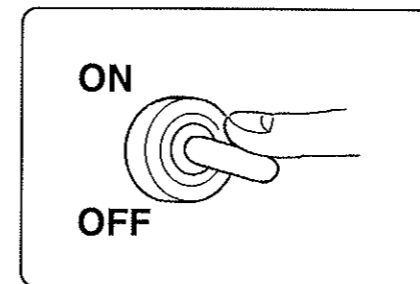


氷を押える力の調節に使います。

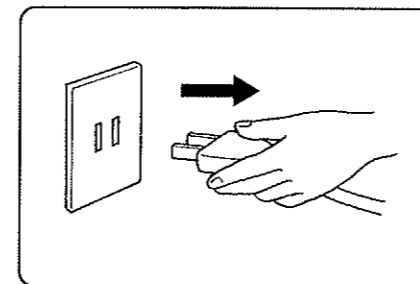
- 調節にはθドライバー、またはコインを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
上下ハンドルから手をはなしても下へ下がらず、上げる時に重くない程度が最適です。

■プロテクターについて

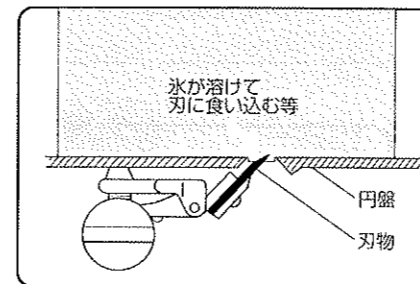
- モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- プロテクターは、モーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



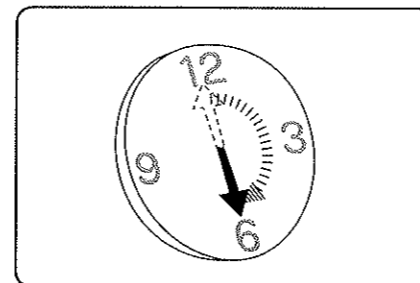
1 電源スイッチをOFF(切)にする。



2 コンセントから電源プラグを抜く。



3 過負荷の原因を取り除く。
(例)刃物が氷にくい込んでいる。この場合は氷のセットをもう一度やり直してください。



4 約30分間、放置してください。
●モーターの温度が下がり使用可能な状態に戻ります。
※プロテクターがたびたび作動する場合は購入店にご相談ください。

■安全スイッチについて

- 氷削運転中にスライドカバーを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

刃物の交換のしかた

警告

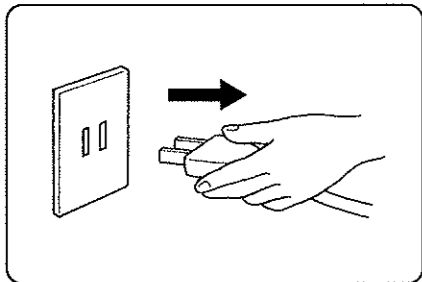
切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

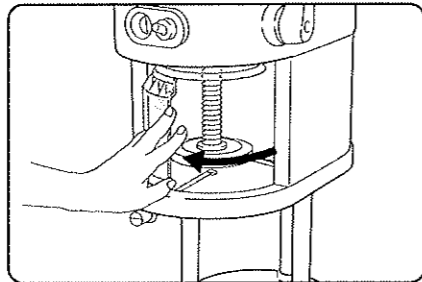


素手禁止

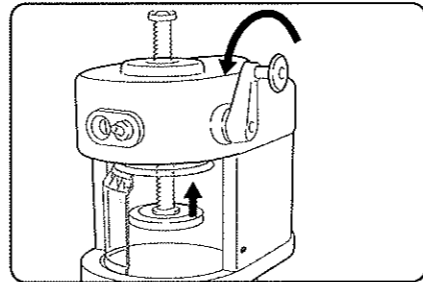
■刃物の取り外し・取り付け方



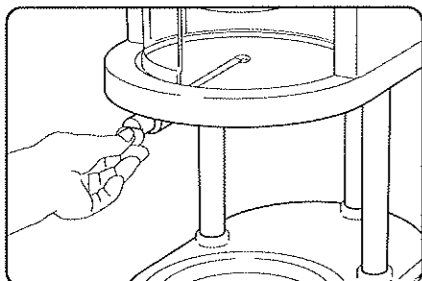
1 電源スイッチをOFF(切)にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



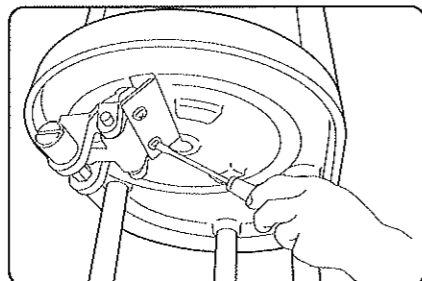
2 スライドカバーを左に回して開けてください。



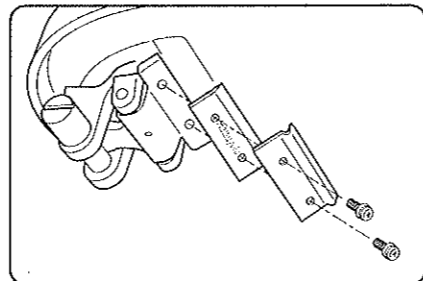
3 上下ハンドルを反時計方向に回して、氷押えを上げてください。



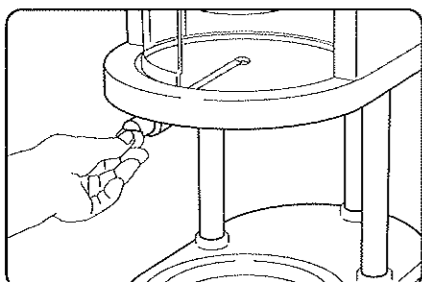
4 刃物調節ダイヤルの数字を0が一番上になるようにセットしてください。(P.10-図参照)



5 刃物固定ネジ(2本)をドライバーでゆるめて、刃物と刃物押えを取ってください。



6 新しい刃物の「Hatsuyuki」が記入されている面と刃物押えのふくらみ側を下にして刃物固定ネジで固定してください。



7 刃物調節ダイヤルを回して、お好みの粗さに調節してください。

お手入れ

警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



素手禁止

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

切削室内を掃除するときは、必ず刃物を円盤上面より下げ、拭く方向は必ず反時計方向に拭くこと

ケガの原因になります。



刃物を下げる

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

切削室は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



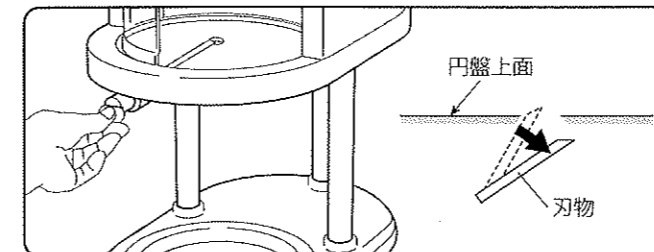
掃除

お願い

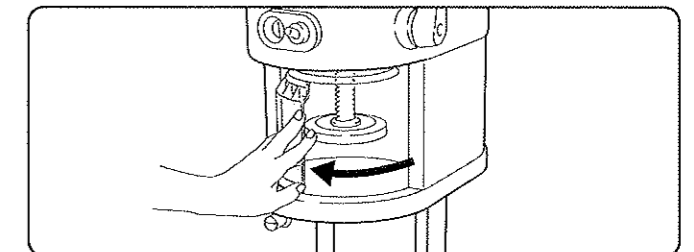
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

●切削室内(円盤・スライドカバー等)

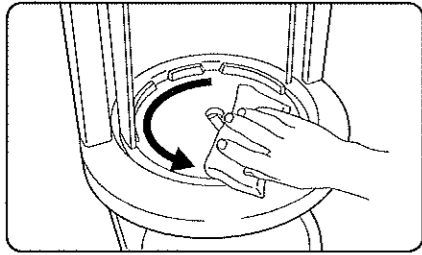


1 刃物調節ダイヤルの数字を0が一番上になるようにセットし、円盤上面より刃物を下げてください。下がっていないとケガをすることがあります。(P.10-図参照)

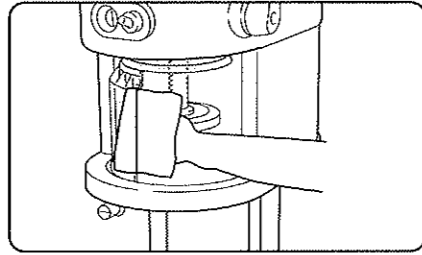


2 スライドカバーを左に回して開けてください。

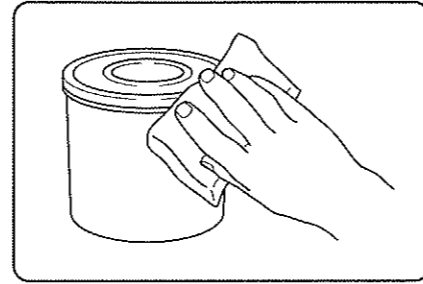
●製氷カップ・フタ



3 めるま湯を含ませた布巾で円盤上を反時計方向に拭いてください。時計方向には絶対に拭かないでください。ケガをすることがあります。



4 めるま湯を含ませた布巾でスライドカバー内面を拭いてください。



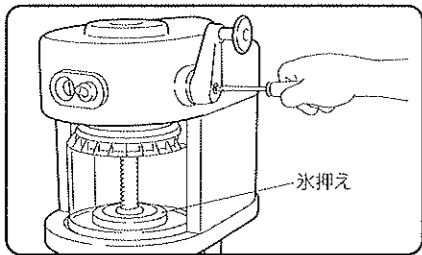
1 めるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水で流してください。

■汚れの目立つときのお手入れ（製品外面）

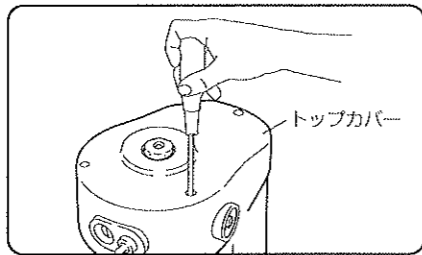
- 乾いた軟らかい布で拭いてください。
- 落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。その後洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

■1ヶ月に1～2回のお手入れ

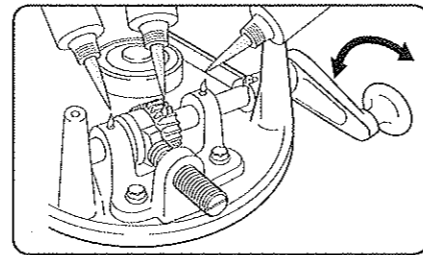
- 給油 ●付属品のギヤオイルをご使用ください。



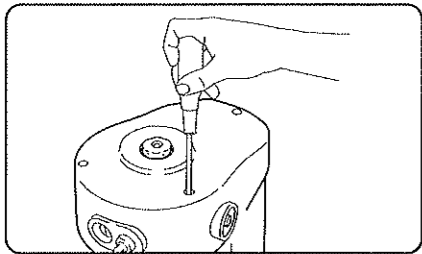
1 氷押えを一番下に下げた後、上下ハンドルを取り付けている小ネジを⊕ドライバーで取り外してください。



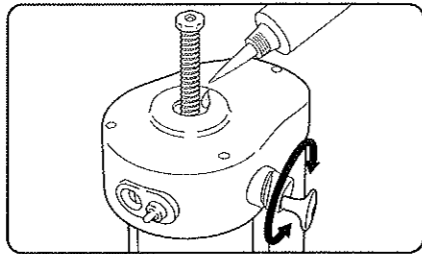
2 トップカバーを取り付けている小ネジを⊕ドライバーで取り外してください。



3 上下ハンドルをウォームシャフトに一時差し込み、上下ハンドルを回しながら、ウォーム軸受の上部小穴2ヶ所と、Y型ブレーキとウォームギヤの接触面に充分給油してください。



4 トップカバーを取り付けてください。



5 上下ハンドル軸に上下ハンドルを取り付け、主軸を上下させながら軸受と主軸に給油してください。

■1年に1～2回の点検

⚠警告

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

アースの点検

- アース線は、切れたり接続部がゆるんでいませんか？
異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか。
他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃の取付け面及びコンセントにホコリが溜まっていませんか。
ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- 電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟みこんだり、汚れていませんか。
異常がある場合は販売会社または電気店にご相談ください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

譲渡・廃棄

譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

廃棄

⚠ 注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険なものとして処理してください。



専門業者

故障の見分け方と処置方法

⚠ 警告

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（刃物交換・お手入れ作業は除く）
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

●故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●「プロテクターについて」の項(P.12) 参照。
	●ベルトが切れていませんか？	●販売会社に連絡してください。
	●スライドカバーが開いていませんか？	●スライドカバーを確実に閉めてください。
製品は動くが氷が削れない	●刃物が切れなくなっていますか？	●刃物を研ぐか交換してください。
	●刃先が円盤上面より出ているですか？	●刃物調節ツマミを右に回し刃物を出してください。
	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
切削中に氷押えから氷がはずれる	●強弱調節ネジがゆるくありませんか？	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
	●氷押えのクギが氷に食い込んでいますか？	●氷押えのクギを氷に確実に食い込ませてください。

仕様

品名	ブロックアイススライサー
型式	HB-130A
電源	単相100V 50/60Hz
定格消費電力	220/200W
円盤有効系径	124mm
定格時間	15分
質量(重量)	18kg
外形寸法(幅×奥行×高さmm)	230×281×392
氷削能力(kg/min)	0.8/1.0kg/min(50/60Hz) : 刃の出0.6mm
付属品	取扱説明書 製氷カップ(3個) 替刃 トレー 氷旗 ギアオイル